

# 新潟市学校図書館 支援センター通信

合同版  
No.4

4つの  
支援センター  
合同でお届け  
します

中央図書館  
豊栄図書館  
白根図書館  
西川図書館

## 学校図書館法改正 学校司書の法制化成る

「学校図書館法の一部を改正する法律」が平成 26 年 6 月 27 日に公布されました。概要は次のとおりです。

- (1) 学校には、司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（学校司書）を置くよう努めなければならない。（第 6 条）
- (2) 国及び地方公共団体は、学校司書の資質の向上を図るため、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。（第 6 条第 2 項）

さらに附則において、国は学校司書の資格及び養成の在り方を検討することとしました。

新潟市は、既に全小中学校に司書を配置し、業務に必要な知識や技能の習得のために、継続した研修を行ってきました。今後も、教諭と司書がそれぞれの役割を果たしながら連携を進め、学校図書館の活用がさらに充実していくように取り組んでいきます。



## いつも身近に

## \* 学校図書館支援センターへの相談事例から \*

### ◆◆ 資料関係 ◆◆

- 教科書関連の本  
→→1 年を通して多数貸出。国語、総合の単元に合わせテーマ毎に資料を揃えた「学校貸出セット【オレンジ BOX】」も好評です。
- 防犯パンフレット作成の参考資料  
→→関連図書のほか警察署が配布しているパンフレットを取り寄せ提供しました。
- 総合の授業で新潟市 8 区の概要を調べる  
→→図書の他、各区のビジョンや区マップを提供。
- 絵本や物語に出てくる料理を給食の献立に  
→→図書やメニューを紹介(市立図書館HP 参照)

### ◆◆ 業務関係 ◆◆

- 除架したいが、どの本を選んだらよいか  
→→蔵書冊数や学校図書館図書標準の冊数を考慮し、実際の資料を見ながら学校司書と一緒に除架しました。
- 図書の並べ方を分類番号順に整えたい  
→→学校を訪問し配架順を確認した後、変更案を提案しました。  
\*\*\*\*\*
- オリエンテーション、蔵書点検、読書週間行事、本の修理、図書館ボランティア、図書館改修など、学校図書館に関する相談に対応しています。

- ◆問い合わせ・相談は、各担当区の学校図書館支援センターにご連絡ください。
- ◆図書館により休館日が異なります。図書館カレンダーなどでご確認ください。
- ◆休館時の緊急の相談は中央図書館支援センターへ。(毎月第 2 金曜日は中央図書館休館のため除く)

東区・中央区担当

北区・江南区担当

秋葉区・南区担当

西区・西蒲区担当

中央図書館

豊栄図書館

白根図書館

西川図書館

TEL 025-246-7700

TEL 025-387-1123

TEL 025-372-5510

TEL 0256-88-0001

FAX 025-246-7722

FAX 025-384-6600

FAX 025-372-5540

FAX 0256-88-2458

\* 秋葉区の団体貸出や図書搬送の問い合わせは新津図書館へ (TEL 0250-22-0097 FAX 0250-21-1046)

## 教諭と司書との連携充実

### 〈授業づくり編〉

### 〈読書活動編〉

### 寄稿

## 「日本一」を目指した確かな歩み

新潟市立総合教育センター  
指導主事 藤井 正人

「新潟市の学校図書館は日本一」の実現を目指し、今年度から、総合教育センター講座「教諭と司書との連携充実」を学校図書館支援センターとの協働で実施することとなりました。この講座は「授業づくり編」と「読書活動編」の二本立てからなる、まさに“ハイブリッド”研修となっています。

「授業づくり編」は8月21日に白根学習館にて、帝京大学教授の鎌田和宏様を講師に迎えて開催されました。講義では、「学校図書館は教育活動の最も重要なインフラである」というコンセプトの下、教諭と司書との連携及び協働の方法や手順について、著名な実践校の事例を基に具体的に教示していただきました。140名の参加者は、授業における探究活動を充実させるためには教諭と司書との連携と協働がいかに重要であるかを学び、それに向けての意欲と見通しをもつことができました。

「読書活動編」は10月7日に総合教育センターにて、新潟大学准教授足立幸子様を講師に迎えて開催されました。この講座は演習を取り入れているので定員を80名といたしましたが、実際はそれ以上の申込があり、まさに満員御礼となりました。参加者は、集団読書法の一つであるパートナー読書を実際に体験することで、新たな読書指導の視点を得ることができました。併せて、交流型読み聞かせなど、子供の読書活動をより活性化させるための方法についても学びました。

「日本一の学校図書館」とは、子供たちが熱心に探究活動や読書活動に取り組む姿が日常的にあふれている図書館です。本講座に参加された皆様が、「日本一の学校図書館」を目指した確かな歩みを進められていることを確信しております。

### 今年度講座の一コマ



〈授業づくり編〉オリエンテーション



〈授業づくり編〉熱心な話し合い



〈読書活動編〉パートナー読書の演習

## 教諭と司書との連携充実 〈授業づくり編〉

8月21日 会場：白根学習館 参加者：140名

学校図書館を活用する授業に向けた  
教諭と司書との連携・協働の方法

帝京大学教育学部 鎌田和宏教授



**鎌田教授の講義** …授業づくりの実例や連携の方法を紹介され、新潟市の学校図書館に熱いエールを送っていただきました。

- 管理職・教諭・司書教諭・学校司書の役割は
  - 管理職…学校図書館機能を教育課程に位置づけ、管理運営を指揮する総責任者
  - 教諭…授業の専門家・子どもの専門家。授業を変える意思とビジョンを！
  - 司書教諭…学校図書館を活用した授業の専門家。教育課程(授業)と学校図書館をつなぐ。
  - 司書…教育機関の図書館としての学校図書館の専門家。教諭と協働して学校図書館をつくる。
- 大切なのは
  - 教諭と司書がコミュニケーションをとること。
  - 学力観、授業観の変換が必要。学校図書館がないとこれからの教育は成り立たない。「がんばれ、学校図書館日本一をめざす新潟市！」

### 参加者の声 (アンケートから)

学校全体で図書館利用について問題を出し合う時間設定が必要だと思った。(管理職)

教諭と司書との連携の必要性、重要性は分かっていたつもりだが、改めて大事にしたいと思った。こんなふうに活用できたらなあという授業のヒントを多くもらった。(教諭)

具体的な話を聞き、司書としてどのように関わっていくべきか理解できた。先生方への働きかけや司書としての技能向上に努めたい。(司書)

## 教諭と司書との連携充実 〈読書活動編〉

10月7日 会場：市立総合教育センター 参加者：80名

- 講義1 集団読書法とは何か、その教育的価値について  
演習 “パートナー読書”を体験しよう  
講義2 読書センターとしての学校図書館を活性化する  
教諭と司書との連携・協働

新潟大学教育学部 足立幸子准教授



### \* 講義 \*

足立准教授から、読書は個人で行うものとする従来の概念だけでなく、新しい読書指導の方法として、小集団で本を読み、読者反応を利用した集団読書法を講義していただきました。

ご自身の実践例をもとに、講義後に演習を行った“パートナー読書”の方法や、授業に位置付ける時に重要な評価について、講義していただきました。



### \* 演習 \*

教諭と司書がパートナーになり、準備された本(テーマ“友だち”)の中から、読むものを選びました。

コネクターやクエスチョナーなどの役割を持ち、好きな登場人物やよい表現を見つけたり、目的を決めて読み、ワークシートに書きこみました。

話し合いでは、ワークシートを基に発表しパートナーの話聞いてさらに書き加えていきました。

小集団で交流しながら1冊の本を読み進め、内容を理解していく“パートナー読書”を体験しました。



# 掲 示 板



## リポート 第39回全国学校図書館研究大会（甲府大会）新潟市の学校図書館を全国にアピール！

期日：8月6日（水）～8日（金）

会場：コラニー文化ホール・山梨学院大学・山梨県立図書館

主題：「学びを深め 知を活かす 学校図書館 ～豊かな育ちを支えるために～」



### 分科会で実践発表（中央図書館 青野萌）

#### ● 新潟市の取組を全国に発信 ●

分科会「学校図書館支援センターの学校図書館支援」において実践発表を行いました。主な発表内容は、①新潟市の学校図書館の概要②学校図書館支援センターの取組③今後の取組の方向性と課題でした。質疑応答では、司書教諭と学校司書との連携方法や大規模校と小規模校との業務量の差などについて話題となりました。

本分科会では千葉県市川市の実践発表もありました。学校教育部に設置され担当指導主事による市川市と、市立図書館に設置され学校司書経験者による本市との取組を比較することができました。

本市の学校図書館についてアピールすることができ、分科会参加者からは本市の取組に対し、「素晴らしい取組」「参考にしたい」と声をかけていただきました。

『学校図書館 10月号』（全国学校図書館協議会発行）に分科会リポートが掲載されています。

### 大会に参加して（豊栄図書館 中村康代）

#### ● 分科会-学校司書専門講座に参加 ●

青山学院女子短期大学堀川照代教授の「学校図書館の学習・教育支援」の講義を受けました。

図書館は、資料・情報の専門家である司書と教育の推進者である司書教諭との協働によって運営されなくてはなりません。司書が教科と連携するには教諭との打ち合わせが不可欠です。

- ①授業の目的やねらい、必要冊数・資料のレベル、提供のレベルなどの聞き取り。
- ②資料の説明やブックトークなど授業への参加の有無。児童生徒が記録する時に書誌情報も書くことを伝えるのは司書ができること。
- ③児童生徒が授業で作成した作品や掲示物を保存することも大切な仕事。
- ④教諭に資料は役に立ったか、冊数は十分だったか聞き取り、次の授業支援に役立てる。

「アイデアとコミュニケーションで楽しく！モチロン元気で」という講師の言葉に勇気づけられました。

### 「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」(H27～31年度)の策定をすすめています。

第一次計画の成果と課題を踏まえ、さらなる取り組みの拡大や充実を目指すものです。大きな柱となる学校については、学校全体での学校図書館の活用と「学習・情報センター」としての機能の発展を目指し、新規・重点事業が計画されています。

\*11月4日の中学校校長会、11月11日の小学校校長会で

中央図書館長から第二次計画案の説明をいたしました。

\*詳細については、各学校宛て文書をご覧ください。

\*HP「新潟市の図書館」からもご覧いただけます。

<http://www.niigatacitylib.jp/>

\*ご意見をお寄せください。



### 平成 27 年度使用

#### 小学校教科書採択替え

来年度からの使用教科書については教育委員会からの通知のとおりです。学校図書館支援センターでは、国語教科書の掲載図書を確認中です。

\*\*\*\*\* 編 集 後 記 \*\*\*\*\*

読書週間を迎え、学校図書館は普段にもまして賑わい、活気に満ちていることでしょう。

子どもたちと本との素敵な出会いがありますように。読書の力で子どもたちの心に豊かな実がなりますように。

\*\*\*\*\*